

## ベナン月報(2017年9月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 18日, ヘホメ(M.Hervé HEHOMEY)インフラ・運輸大臣が罷免される。トナト(M.José TONATO)生活環境・持続的開発大臣が業務を引き継ぐ。(19日, La Nation 紙)

#### 【外政】

- 22日, アベノンシ(M. Aurélien AGBENONCI)外務・協力大臣は, 第72回国連総会一般討論演説において貧困撲滅に向けて引き続き取り組んでいく旨強調した。(26日, La Nation 紙)
- 25日から, クロディーン・タロン大統領夫人はベルギーを訪問し, ベルギー政府と母子死亡率の低下や給水アクセス改善等に向けた方策について協議を行った。(26日, Le Matinal 紙)

#### 【経済】

- 13日, 在ベナン日本国大使館は, 開発協力プレスツアーを実施し, 11社14名の記者と共に日本がベナンで実施した案件サイトの視察をポルトノボ市, アジャラ市及びボヌ市で行った。(14日, La Nation 紙等)

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, L'économiste 紙, La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ 8月31日, 南アフリカの民間企業の視察団がベナンへの投資可能性調査のためコトヌを訪問した。投資希望分野は, コトヌ自治港, 道路インフラ, ベナン・ニジェール間鉄道, 観光業及び食料農業である。南アフリカとは1994年より国交が結ばれている。(4日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 中等教育・技術職業訓練省は2016-17年度における中等教育過程における早熟妊娠数を発表した。ベナン全土で中等教育過程に登録している301,821人の女子生徒の内, 2,763人が該当し, 全体の0.92%に上るとした。(8日, Le Matinal 紙)
- ・ 11日, カッサ(M.Barthélemy KASSA)国民議会議員と8名の議員は, 新たに議員グループ「AGIR POUR LA REPUBLIQUE」を立ち上げた。この議員9名の内8名は「AGIR POUR LE BENIN」を, 1名は「Bénin uni et Solidarité」をそれぞれ脱退している。彼らの方針としては, 政治グループ「国民議会多数派連合」を支持し, タロン大統領の政策実現のために取り組むとのことである。(12日, La Nation 紙)
- ・ 18日, ヘホメ(M.Hervé HEHOMEY)インフラ・運輸大臣が罷免される。トナト(M.José TONATO)生活環境・持続的開発大臣が業務を引き継ぐ。(19日, La Nation 紙)
- ・ 18日, ベナン全土の教育機関が2017~2018年の新学年を迎えた。(19日, La Nation 紙)

- ・ 14日より、アボトン(M. Polycarpe AGBTON) 法律家(一般市民)は電子選挙人リスト(Lepi)の修正・更新を執り行う方針・監督評議会(COS)のメンバーが憲法の規定に反して国民議会によって選出されていない点につき、違憲だとして憲法裁判所に本件を提訴した。憲法上、いかなる国民も政府の行動の違憲性につき憲法裁に審査を求めることができる。(21日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 21日, 裁判所はソグロ(M. Lehady SOGLO)前コトヌ市長の解任の合法性等に関する裁判を, 裁判所の閉会期に入ることを理由に審問を10月30日に延期することを決めた。(22日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 28日, ジュグ市長の解任を求めて, 29名中28名の市議が不信任決議を求めて議会の召集を求めた。(29日, L' Evénement Précis 紙)

#### 【外政】

- ・ 14日, ワダニ(M. Romuld WADAGNI) 経済・財務大臣は, ブルモ(Mme. Véronique BRUMEAUX) 駐ベナン・フランス大使と会談し, フランス開発庁(AFD)が農業研究や農業に関するプロジェクト調査のために14億 FCFA を供与する旨の協定に署名をした。10億 FCFA は, 「ベナンの綿花生産における農業・エコロジー展開支援(TAZCO)」, 4億 FCFA は「研究・能力開発基金(Ferc)」のスキームの枠組みである。(15日, Le Matinal 紙)
- ・ 19日, 韓国ソウル市で開催された平和サミット(WARP)にウンベジ(Me Adrien HOUNGBEDJI) 国民議会議長が出席し, 平和の実現に向けた科学技術の進歩の重要性を強調した。(20日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 20日, ベナン政府は閣議において総額約4億2千500万 FCFA の予算を2017年の洪水被害に充てることを決定した。(22日, L' Evènement Précis 紙)
- ・ 22日, アベノンシ(M. Aurélien AGBENONCI) 外務・協力大臣は, 第72回国連総会一般討論演説において貧困撲滅に向けて引き続き取り組んでいく旨強調した。(26日, La Nation 紙)
- ・ 25日から, クロディーン・タロン大統領夫人はベルギーを訪問し, ベルギー政府と母子死亡率の低下や給水アクセス改善等に向けた方策について協議を行った。(26日, Le Matinal 紙)
- ・ 26日から, 在ベナン米大使館との共催でミレニアム・チャレンジ・アカウントは3日間に渡って汚職対策に関するセミナーを開催した。ピオ・チャネ計画・開発大臣も出席した。(27日, La Nouvelle Tribune 紙)

#### 【治安】

- ・ アティエメ市で, 約2週間に渡り続いたモノ川氾濫の影響で若い男性の水死体が発見された。また, 26世帯が市街地から孤立した。加えて農地も被害に遭い, 約1, 000人が食糧不足に陥る可能性がある。(4日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 4日, モノ県コメ市の市役所エリアにおいて, 2日より行方不明となっていた2歳の女兒が井戸で発見された。(5日, La Nation 紙)

- ・ 9日夜、ヒラコンジ・グラン・ポポにおいて事故があり、ラゴス方向から来たナイジェリア籍の車がスピード超過でトラックと衝突し8人が死亡した。(12日, Le Matinal 紙)
- ・ 18日、アラダ市、ウィダ市及びアボメカラビ市で暗躍していた盗賊グループ10名程がアラダ市憲兵隊によって逮捕された。(19日, Le Matinal 紙)
- ・ 20日、モノ県の行政調査視察団の結果が公表され、コメ市の死体安置所が衛生状況や遺体収容数等の点で規則違反であったことから閉鎖されることとなった。(25日, La Nation 紙)
- ・ 25日、警察はクツフォ市において強盗容疑のかかった者の家宅捜索を行った際、銃器等の火器が発見・押収された。(26日, La Nation 紙)
- ・ 治安当局の発表によれば、本年7～9月にかけて、ベナン北部において象牙密輸を企てていた者3名及び密輸グループが逮捕された。合計18本の象牙が押収されており、すなわち9頭の象が殺害されていることが分かった。(27日, L' Evénement Précis 紙)

#### 【経済】

- ・ 8日、携帯電話通信会社の MTNBénin は、IT 技術振興を目的とするウンベジ財団と協力し、IT 技術や若者の研修を目的とし、ウェブサイトやアプリケーションを主としたデジタル経済発展のためイノベーションセンターの設立式を行った。同セレモニーには、モンル (Mme.Rafiatou MONROU) デジタル経済・通信大臣、ビオ・チャネ (M.Abdoulaye BIO TCHANE) 計画・開発大臣が参加した。(11日, La Nation 紙)
- ・ 13日、西アフリカ開発銀行は、ベナン経済発展のため174億 FCFA を2組織に貸与することを発表した。La Société générale Bénin に対し中小企業支援のため100億 FCFA を、La Société d' hôtellerie de restauration et de loisirs に対し、ホテル業界活性化のために74億 FCFA が融資される。(14日, Le Matinal 紙)
- ・ 13日、在ベナン日本国大使館は、開発協カプレスツアーを実施し、11社14名の記者と共に日本がベナンで実施した案件サイトの視察をポルトノボ市、アジャラ市及びボヌ市で行った。(14日, La Nation 紙等)
- ・ 18日より、カシューナッツに関するアフリカ連盟(AAC)第11回年次会合がコトヌ市で開催され、ビオ・チャネ計画・開発大臣の指揮のもと、33か国(内16のアフリカ諸国)の民間企業等が集まり、カシューナッツ産業を成長の鍵とすべく議論を行った。(20日, L' Evènement Précis 紙)
- ・ 19～21日、西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)は、コトヌ市において、漁業・養殖分野における政策・立法調整協議会を開催し、同盟諸国内における同分野の発展に向けた協議を行った。(20日, La Nation 紙)
- ・ 26日、日本の支援によるトッフオ市ウェグレ村安全な水へのアクセス改善計画の引渡式が執り行われ、小西日本国大使やサンポタ・トッフオ市第二副市長等が出席した。本件ではヤマハ発動機株式会社による太陽光発電による浄化装置が供与された。(28日, La Nouvelle Tribune 紙)

- ・ 26日, タロン大統領はベナンの視察を行った IMF 調査団と面会し, 同調査団からベナンの公的支出管理体制について好意的な評価を得た。(28日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, ウス(M. Dona Jean-Claude HOUSSOU)水・エネルギー・鉱山大臣は, 480MW を発電するマリア・グレタ火力発電所発電計画の第一フェーズ(120MW)の実施に関して, 受注企業 BMSC 代表と契約署名を行った。(28日, La Nation 紙)

#### 【文化】

- ・ 9日, コトヌにおいて, ベナン柔道連盟主催, 2017年ベナン柔道選手権が行われた。6 県で行われた県大会で勝ち抜いた柔道家が参加した。24ある階級それぞれのチャンピオンが誕生した。(14日, Le Matinal 紙)